



2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年4月28日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <https://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 松田 明彦

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2023年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	38,198	1.2	2,587	37.0	2,974	36.1	2,185	45.6
2022年12月期第1四半期	37,750	5.0	4,109	12.3	4,654	10.2	4,015	9.8

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 3,551百万円 (30.4%) 2022年12月期第1四半期 5,105百万円 (28.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	18.18	
2022年12月期第1四半期	32.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	256,434	204,938	79.5
2022年12月期	265,135	210,807	77.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 203,993百万円 2022年12月期 205,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		18.00		18.00	36.00
2023年12月期					
2023年12月期(予想)		18.00		18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	85,300	9.4	6,300	20.2	6,900	26.5	5,100	31.0	42.41
通期	178,800	11.2	14,000	2.7	14,800	10.0	10,600	15.2	89.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	122,100,000 株	2022年12月期	122,100,000 株
期末自己株式数	2023年12月期1Q	2,998,297 株	2022年12月期	994,783 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	120,218,319 株	2022年12月期1Q	124,831,047 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間（2023年1月1日から2023年3月31日まで）における世界経済は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が継続する中、米国を中心とした利上げによるインフレ抑制策が続き、一部金融機関が破綻するなど、金融政策をとりまく不確実性も高まりました。

わが国経済は、製造業は、昨年後半からの電子・電気製品などの生産減の影響を受け、引続き出荷は低調なもの、コロナウイルス感染症に対する規制緩和により、旅行や飲食などの非製造業においては営業活動が活発となり、明るい兆しが見える部分も出てきました。

このような状況下、当社グループは新しく作成した2025年中期経営計画を開始し、第1四半期の売上高は381億9千8百万円（前年同期比1.2%増収）、営業利益は25億8千7百万円（前年同期比37.0%減益）、経常利益は29億7千4百万円（前年同期比36.1%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億8千5百万円（前年同期比45.6%減益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

2023年1月1日付で組織変更を実施し経営管理区分を変更したことに伴い、当第1四半期連結会計期間から、従来「基幹化学品事業」セグメントに含めていたサステナビリティ関連事業を「その他」セグメントに移管しております。なお、前年同期比につきましては、変更後の区分方法により作成した前第1四半期連結累計期間の数値と比較しております。

①基幹化学品事業

電解製品は、全般的に販売数量減となりましたが、昨年からの価格改定もあり増収となりました。アクリルモノマー製品は、アクリル樹脂や粘着剤向けの販売数量減により減収となりました。工業用ガスは販売数量減となりましたが価格改定により前年同期並みとなりました。これらの結果、当セグメントの売上高は172億4千3百万円（前年同期比8.2%増収）となりました。

営業利益は、電解製品は原燃料価格上昇に応じた価格改定をいたしました、販売数量減の影響が大きく減益となりました。アクリルモノマー製品は販売数量減の影響と海外市況の大幅下落により減益となりました。これらの結果、11億6千5百万円（前年同期比34.1%減益）となりました。

②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、一部の製品が販売数量増となり増収となりました。アクリルオリゴマーは、電子材料向けの販売数量減により減収となりました。高分子凝集剤は、輸出および土木関係向け販売数量減のため減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は85億2千5百万円（前年同期比6.5%減収）となりました。

営業利益は、アクリルオリゴマーや高分子凝集剤の販売数量減により減益となり、8億9百万円（前年同期比38.5%減益）となりました。

③接着材料事業

瞬間接着剤の家庭用は、ホームセンターなどの来店客数が減少した影響を受け、販売数量減となり減収となりました。工業用瞬間接着剤は、自動車向けや米国での販売数量減により減収となりました。機能性接着剤は、車載用電池向けは販売数量増となりましたが、スマートフォン関係向けの販売数量減により減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は26億8千万円（前年同期比2.8%減収）となりました。

営業損益は、利益回復に向け昨年から継続して価格改定に努めたものの、販売数量減により前年同期に比べ1億9千3百万円減少し、1億1千6百万円の損失となりました。

④高機能材料事業

高純度無機化学品は、半導体市況悪化の影響を受け販売数量は減少しましたが、原燃料価格上昇に応じた販売価格改定により増収となりました。無機機能材料は、抗菌剤は好調な出荷となりましたが、電子機器向けイオン捕捉剤と消臭剤が販売数量減となり減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は25億1千7百万円（前年同期比1.9%増収）となりました。

営業利益は、販売数量減や技術研究費を含めた固定費の増加で減益となり、4億7千8百万円（前年同期比17.2%減益）となりました。

⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品は、住宅着工件数の伸び悩みにより販売数量減となり減収となりました。ライフサポート製品は、新製品の販売が好調で増収となりました。エラストマーコンパウンドは、メディカル製品向けが出荷数量増となり増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は67億7千5百万円（前年同期比3.4%減収）となりました。

営業利益は、管工機材製品の出荷数量減やエラストマーコンパウンドの原燃料価格の上昇により減益となり、2億8千3百万円（前年同期比40.3%減益）となりました。

⑥その他の事業

サステナビリティ関連事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は4億5千5百万円（前年同期比1.2%増収）、営業損益は4千1百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

資産合計は、「現金及び預金」および「有価証券」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ87億1百万円、3.3%減少し、2,564億3千4百万円となりました。

負債合計は、「支払手形及び買掛金」および「未払法人税等」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ28億3千3百万円、5.2%減少し、514億9千5百万円となりました。

純資産合計は、連結子会社であるMTアクアポリマー株式会社の出資比率引上げにより「非支配株主持分」が減少したことに加え、自己株式の取得により「自己株式」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ58億6千8百万円、2.8%減少し、2,049億3千8百万円となり、自己資本比率は79.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

米中覇権争いの激化やインフレ抑制のための金利高など、政治・経済の先行きに対し不透明感が増し、多くの製品が販売数量減となっております。当社グループは、継続して価格改定に注力し、さらにコスト削減に努め、ユーザーの動向を注視しながら利益拡大に向け事業活動を進めてまいります。

このような状況から、各種事象を合理的に見積もることは困難であるため、2月10日に発表しました2023年通期の連結業績予想は据え置き、業績予想の変更が必要と判断された時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,366	35,472
受取手形及び売掛金	49,848	47,207
有価証券	18,000	14,000
棚卸資産	25,511	25,784
その他	5,309	6,030
貸倒引当金	△50	△49
流動資産合計	138,985	128,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,467	27,159
機械装置及び運搬具（純額）	24,399	23,553
土地	29,146	29,172
その他（純額）	9,761	10,615
有形固定資産合計	90,774	90,501
無形固定資産		
投資その他の資産	1,592	1,630
投資有価証券	28,472	30,521
退職給付に係る資産	2,704	2,773
その他	2,612	2,568
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	33,782	35,856
固定資産合計	126,150	127,988
資産合計	265,135	256,434

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,653	17,456
短期借入金	2,475	2,475
未払法人税等	2,176	342
引当金	16	683
その他	13,470	13,302
流動負債合計	37,792	34,259
固定負債		
長期借入金	8,590	8,590
退職給付に係る負債	117	116
その他	7,828	8,529
固定負債合計	16,535	17,235
負債合計	54,328	51,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	15,095	14,166
利益剰余金	158,154	158,156
自己株式	△1,081	△3,485
株主資本合計	193,053	189,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,598	10,953
為替換算調整勘定	3,471	3,470
退職給付に係る調整累計額	△154	△155
その他の包括利益累計額合計	12,915	14,268
非支配株主持分	4,837	945
純資産合計	210,807	204,938
負債純資産合計	265,135	256,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	37,750	38,198
売上原価	26,887	28,712
売上総利益	10,862	9,485
販売費及び一般管理費	6,753	6,898
営業利益	4,109	2,587
営業外収益		
受取利息	10	48
受取配当金	56	63
持分法による投資利益	86	81
受取保険金	—	192
固定資産賃貸料	83	49
為替差益	398	30
その他	20	36
営業外収益合計	656	503
営業外費用		
支払利息	20	32
環境整備費	64	25
遊休設備費	9	3
その他	15	55
営業外費用合計	110	116
経常利益	4,654	2,974
特別利益		
補助金収入	280	72
投資有価証券売却益	1,000	—
特別利益合計	1,281	72
特別損失		
固定資産処分損	238	42
投資有価証券評価損	104	—
特別損失合計	342	42
税金等調整前四半期純利益	5,593	3,003
法人税等	1,483	806
四半期純利益	4,110	2,196
非支配株主に帰属する四半期純利益	95	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,015	2,185

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	4,110	2,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	351	1,355
為替換算調整勘定	657	0
退職給付に係る調整額	△14	△0
その他の包括利益合計	995	1,355
四半期包括利益	5,105	3,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,983	3,538
非支配株主に係る四半期包括利益	122	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年2月10日開催の取締役会決議に基づく自己株式2,002,900株の取得などを行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間にて自己株式が2,403百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が3,485百万円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしています。これによる当第1四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	15,941	9,116	2,758	2,470	7,013	37,299	450	37,750	—	37,750
セグメント間の内部 売上高または振替高	1,357	357	18	67	93	1,894	376	2,271	△2,271	—
計	17,298	9,474	2,777	2,538	7,106	39,194	827	40,021	△2,271	37,750
セグメント利益	1,769	1,317	77	578	474	4,217	△110	4,106	2	4,109

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	17,243	8,525	2,680	2,517	6,775	37,742	455	38,198	—	38,198
セグメント間の内部 売上高または振替高	1,117	412	43	70	146	1,790	388	2,178	△2,178	—
計	18,360	8,937	2,724	2,588	6,922	39,533	844	40,377	△2,178	38,198
セグメント利益 または損失 (△)	1,165	809	△116	478	283	2,621	△41	2,579	7	2,587

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、サステナビリティ関連事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益または損失の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益または損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分変更)

2023年1月1日付で組織変更を実施し経営管理区分を変更したことに伴い、当第1四半期連結会計期間から、従来「基幹化学品事業」セグメントに含めていたサステナビリティ関連事業を「その他」セグメントに移管しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。